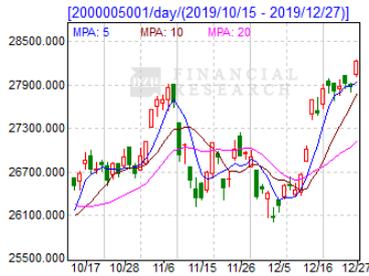


中国株ウィークリーレポート

2019/12/30

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	18年末株価
NYダウ	28,645.26	23.87	0.08	0.67	22.80	23,327.46
NASDAQ	9,006.62	-15.77	-0.17	0.91	35.74	6,635.28
日経225	23,837.72	-87.20	-0.36	0.09	19.10	20,014.77
上海総合	3,005.04	-2.32	-0.08	0.00	20.50	2,493.90
滬深300 (CSI300)	4,022.03	-3.96	-0.10	0.12	33.59	3,010.65
ハンセン	28,225.42	361.21	1.30	1.27	9.21	25,845.70
中国企業	11,194.55	158.57	1.44	1.49	10.57	10,124.75

【株式概況】

先週の動き: ハンセン指数は1.3%高と4週続伸、上海総合指数はほぼ横ばい

香港市場はクリスマス連休で2日半の取引。ハンセン指数は週間で1.3%高と4週続伸した。米中の第1段階の合意を受けて目先の材料出尽くし感が広がるなか、連休前は一進一退の展開だったが、連休中の米株高を受けてハンセン指数は連休明け27日に節目の28000ポイント台を回復。約5カ月ぶり高値をつけた。本土市場では上海総合指数がほぼ横ばいながらも4週続伸。週初は利益確定売りが先行したが、その後は預金準備率の引き下げ観測に加え、政府の就業支援策や戸籍制度の規制緩和などを受けて持ち直した。

今週の展望: 香港市場はしっかりの展開か、正月の休みを挟んで3日半の取引

香港市場は正月を挟んで3日半の取引。北朝鮮を巡る地政学的リスクや長期化する香港の抗議デモなどが懸念材料としてくすぶるものの、米中の第1段階の合意文書への署名準備が進むなか米中対立激化への警戒感が和らいでおり、引き続きしっかりとした相場が期待できそうだ。中国人民銀行による預金準備率の引き下げ観測も相場を支える要因となりそうだ。一方、本土市場も今週はしっかりの展開が見込まれる。米中の対立が落ち着くなか、中国政府による景気対策や金融緩和への期待が相場を支えそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 サズ・ファイナ (01928)	41.40	4.55
2 中国生物製薬 (01177)	11.18	3.90
3 万洲国際 (00288)	8.06	3.73
4 銀河娛樂 (00027)	57.65	3.59
5 碧桂園 (02007)	12.44	3.32
6 申洲国際集団 (02313)	111.00	3.26
7 石業集団 (01093)	18.82	3.18
8 中国神華能源 (01088)	16.36	3.02
9 吉利汽車 (00175)	15.06	3.01
10 CNOOC (00883)	12.84	2.72

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 舜宇光学科技 (02382)	136.60	-1.44
2 恒安国際集団 (01044)	56.35	-0.79
3 中銀香港 (02388)	27.30	-0.55
4 太古A (00019)	71.80	-0.49
5 新鴻基地産 (00016)	117.50	-0.34
6 中国蒙牛乳業 (02319)	31.85	-0.31
7 九龍倉置業地産 (01997)	45.85	-0.22
8 中国人寿保險 (02628)	21.40	0.00
9 恒基兆業地産 (00012)	38.15	0.00
10 長江ソフワ (01038)	55.65	0.09

▼今週の主なイベント

- 12月31日(火)
- 【香港】大晦日で半日立ち会い
- 【中国】製造業 PMI (12月)
- 1月1日(水)
- 【香港】元日で休場
- 【中国】元日で休場

▼今週の期待材料

- ◆米中第1段階の合意文書への署名手続きが進展、米中対立激化への警戒感が和らぐなかリスクオン継続へ
- ◆李克強首相が中小企業支援に向け預金準備率の引き下げの可能性に言及、金融緩和への期待が相場の支援材料に
- ◆中国の1-11月の工業企業利益が2.1%減と減少幅が縮小、11月単月では5.4%増とプラス転換

▼今週の懸念材料

- ◆香港市場でハンセン指数が28000ポイント台を回復、約5カ月ぶり高値で利益確定売りが出る可能性も
- ◆香港の抗議デモが長期化、民主派団体「民間人權陣線」が元日に大規模デモを呼びかけ
- ◆中国国家统计局が31日に12月の製造業PMIを発表、弱い内容なら景気の先行き不安がぶり返す公算

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 深セン高速道路 (00548) : 11月の主力道路の1日当たり通行料収入が3%増加
- ☆ テンセント (00700) : オンライン問診サービス「問医生」をリリース
- ☆ 中国興業太陽能技術 (00750) : 27日時点の受注残高26億元、20年に順次着工
- ☆ 華電国際電力 (01071) : 子会社が第三者割当増資、20億元調達で債務返済
- ☆ 上海電気集団 (02727) : 上海の不動産を15.8億元で売却、売却益5.5億元
- ☆ 首創置業 (02868) : 蘇州の住宅プロジェクトを10.7億元で売却
- ☆ 中信証券 (06030) : 改正証券法が3月施行へ、IPOの登録制度拡大で恩恵
- ☆ 高キン零售 (06808) : アリババとの合弁・上海潤盒に1.02億元を追加出資
- ★ 中国広核電力 (01816) : 紅沿河5号機・6号機の運転開始時期を1年先送り
- ★ 広州汽車集団 (02238) : 19年の新車販売台数は4%減の見通し、20年目標は8%増

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。